

輝きつむぐ理想郷

— いにしへの歴史と希望ある未来、そして人を育むまち —

第6次平泉町総合計画 後期基本計画

2026 ▶ 2030

〔概要版〕

1 総合計画の策定にあたって

計画の背景と目的

本町では、令和3年3月に第6次となる「平泉町総合計画前期基本計画」を策定し、基本構想において「輝きつむぐ理想郷ーいにしへの歴史と希望ある未来、そして人を育むまちー」を将来像に据えて、その実現のための諸施策を推進してきました。

この前期基本計画が令和7年度をもって最終年度を迎えることから、町の現状を改めて見直し、この5年間の取組みの評価や課題などを踏まえ、平泉町が持続・発展していくために町民と行政が協働しながら、将来に向けて活性化していくため、後期の5年間を目標とする「第6次平泉町総合計画後期基本計画」を策定するものです。

計画の位置づけと役割

総合計画とは、自治体が進めていくまちづくりのすべての分野における行財政運営の「最上位計画」であり、平泉町においては、今後10年間における町の将来像と基本目標、基本施策等を明確にし、町民と一体となって進めていく指針となるものです。

本計画は、このような位置づけを踏まえて、次のような役割を持ちます。

- 1 町内のあらゆる主体が一体となって進めるためのもの
- 2 暮らしを支える行財政運営の指針となるもの
- 3 国、県、広域圏との連携の基礎となるもの

計画の構成と期間

本計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つで構成されます。

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	令和3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
基本構想	[長期間にわたる継続的な計画を示す矢印]									
基本計画	前期基本計画					後期基本計画（今回策定）				
実施計画	[実施計画の矢印]					[実施計画の矢印]				

町の概況

前期基本計画策定以降の、本町にまちづくり関わる主な出来事を整理します。

【令和 3 年度(2021)】

- 世界遺産登録 10 周年を記念し、多彩なイベントを開催。
- 平泉スマートインターチェンジ供用開始。
- 高田前工業団地に長島製作所平泉工場が竣工。町と連携し「スパルタキャンプ」を開始。
- 結婚祝金、出産祝金制度を開始。

【令和 4 年度(2022)】

- 平泉町学習交流施設「エピカ」がオープン。
- 束稲山麓地域が日本農業遺産に認定。
- コミュニティバス「よしつね号」「べんけい号」の本格運行を開始。
- 3年ぶりに春の藤原まつり「源義経公東下り行例」を開催。俳優・伊藤健太郎さんが義経公に扮し、過去 2 番目の人出を記録。

【令和 5 年度(2023)】

- 世界遺産拡張登録を目指す推薦書案を「柳之御所遺跡」のみとすることが決定。
- 山形県酒田市と文化交流協定を締結。
- 営農継続農業機械支援事業を開始。
- 初めて中国からの国際交流員を配置。
- 初めて地域おこし協力隊員3人を委嘱。

【令和 6 年度(2024)】

- 役場に「子育て支援課」を設置。
- 中尊寺金色堂建立 900 年の節目に多彩なイベントを展開。
- 「いわて平泉歴史文化観光地域計画」が文化観光推進法の地域計画として認定。

【令和 7 年度(2025)】

- 平泉町合併 70 周年を迎え、記念誌を発行。
- 岩手県紫波町と文化交流協定を締結。
- 役場に「人口減少対策推進本部」を設置。
- 都市計画マスタープランを改訂。

平泉町の発展課題

町民意識や社会の潮流、将来の動向等から見えるまちの課題認識を踏まえ、後期基本計画期間において重視すべき本町の課題を次のとおり整理しました。

課題

1

子育て支援と教育環境の充実、UIJターンによる定住化の促進

- 誰もが安心して子どもを生み育てることができる地域の実現
- 子どもたちが地域に誇りと愛着を持ちながら、未来へとはばたける環境づくり
- 平泉の歴史・文化を背景とした、町民一人ひとりが暮らしに喜びと生きがいを持つことのできる環境整備
- 地域を支える人材の確保

課題

2

福祉施策と保健・医療体制の充実

- 町民が主体的に行う健康づくりによる健康寿命の延伸
- 医療・介護・福祉の連携による相談支援体制と各種サービスの充実
- 年齢や障がいの有無に関わらず、誰もがいつまでも、住み慣れた地域で自立した生活を送ることのできる環境づくり

課題

3

地域経済の活性化と雇用の場の拡充に向けた産業振興と観光振興の充実

- 地域経済を支える産業の活力の向上
- 1年を通じて安定的に機能する産業構造の構築と魅力的な雇用の創出
- 四季を通じた来訪の促進と安定的な観光客数の確保

課題

4

安全・安心な地域社会の推進

- 町民・地域・団体・行政などあらゆる主体の連携による一体的な取組の推進
- 地域福祉の観点もふまえた、相互に助け合う地域力の強化

課題

5

環境と共生した便利で快適な暮らしの実現

- 町民のライフスタイルや価値観の変化、ICT・AIなどの進化への対応
- 資源やエネルギーを大切にす環境負荷の少ない暮らしの推進
- 町民の生活に不可欠な公共サービスを限られた財源の中で持続的に提供

課題

6

歴史・文化の保全及び活用と景観の整備

- 世界遺産のまちとしてのハード・ソフトに関わる「平泉の文化遺産」の保全・継承
- 歴史文化遺産と周囲の緑豊かな山々や清らかな川、美しい田園風景、町民の暮らしがおりなす調和の取れた景観の保全
- 町民が芸術や伝統文化に触れられる機会の充実

平泉におけるSDGsとの調和

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、17の目標と169のターゲットで構成されています。

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録の理念でもある「平和」と「平等」は、SDGsが目指す世界共通の課題の解決に向けた理念にも通じていることから、本町においても、第6次平泉町総合計画後期基本計画の各施策にSDGsが掲げる17のゴールを関連付けることで一体的な推進を図ります。

また、令和6年に町と中学生が共同で「平泉町のSDGs」オリジナルロゴマークを制作しました。SDGsの推進に向け意識高揚を図り、個人や企業等での幅広い活用を促進し普及啓発に取り組んでいます。

(SDGsの17のゴール(国際連合広報センターHPより))



「平泉町のSDGs」オリジナルロゴマーク



過去に学び、今を見つめ、未来を考えるまち
SDGs 平泉



過去に学び、今を見つめ、未来を考えるまち
SDGs HIRAIZUMI



過去に学び、今を見つめ、未来を考えるまち
SDGs ひらいずみ

HIRAIZUMI SDGs LOGO DESIGN PROJECT

子どもたちが持つアイデアを持続可能なまちづくりにつなげる「中学生アイデア実現プロジェクト」で、町内の中学生が町のSDGs推進のシンボルとしてデザインしたロゴマークです。

2 基本構想(令和3年度から令和12年度)

将来像と基本方針

前総合計画において計画的に取り組んできたこれまでのまちづくりの成果を引き継ぎ、さらに未来に向かって発展させていくため、次のように新しく将来像を定め、町民、地域、企業、団体、行政などのあらゆる主体が手を合わせてまちづくりを進めていきます。

<平泉町の将来像>

輝きつむぐ理想郷

-いにしへの歴史と希望ある未来、そして人を育むまち

<将来像に込めた想い>

- ◆ 町民一人ひとりの個性が尊重され、それぞれの生き方が「輝き」、
- ◆ 豊かな地域資源が磨き上げられ、あらゆる産業が「輝き」、
- ◆ 自然と歴史、文化が調和し、美しく快適な環境を守り育てあげ、地域が「輝き」、
- ◆ 観光と交流を通じて人と人との結びつきが生まれ、その絆が「輝き」、
- ◆ 誇りと愛着を持ち、協働によって創り上げる町の魅力が「輝き」、
- ◆ 平泉に関わるすべての人、ものが「輝き」を放ち続けるように

そのためには、いにしへの歴史、今生きている現代、これからの未来を紡いでいく、一つの軸線で考えることが大切であり、あらゆる多様性が町をつくる推進力となります。

この「輝き」を生み出し続けることで、新しい時代のまち(理想郷)づくりに挑戦していきます。

<まちづくりの基本方針>

基本方針1 つながりを感じられるまち

基本方針2 新たな魅力を力に

[新たな魅力5本柱]

- ❖ 平泉スマートインターチェンジの供用開始
- ❖ 平泉スマートインターチェンジ周辺開発(産業の集積)
- ❖ 社会教育施設の整備・運営
- ❖ 企業誘致と創業の促進による新たな雇用機会の創出
- ❖ 道の駅平泉・東稲山麓地域における農林業システム・遊水地完成を起爆剤とした農業の活性化

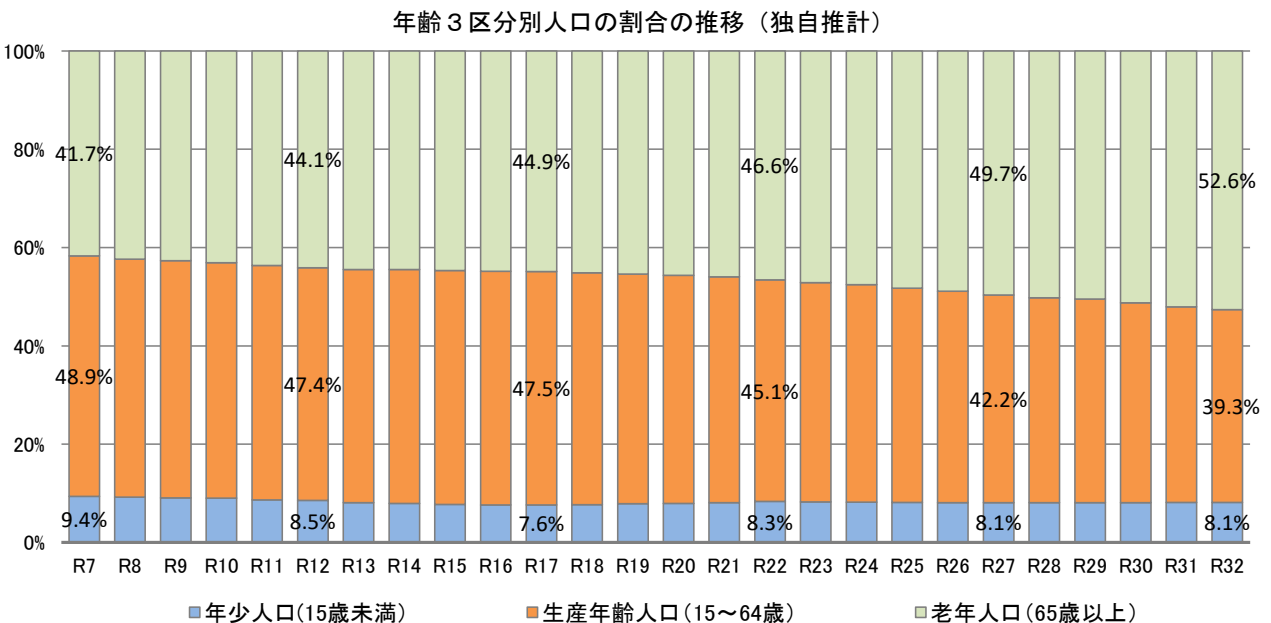
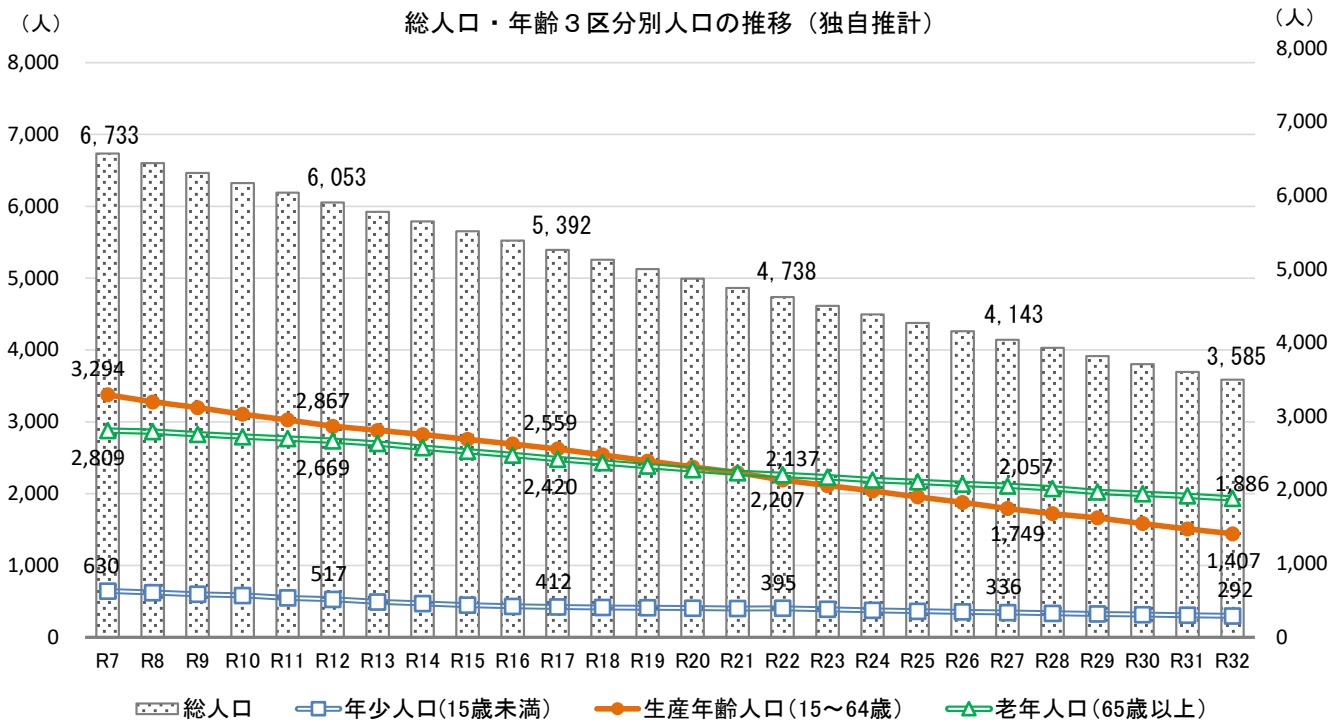
基本方針3 歴史・文化・自然の恵みを力に

人口の将来推計

総人口及び年齢階層別人口の推計は、第6次平泉町総合計画後期基本計画と並行して改定した人口ビジョンを参照しています。

令和7(2025)年には 6,733 人だった総人口が、25 年後の令和 32(2050)年には 3,585 人まで減少することが予想されています。

また、年齢階層別人口も年少人口(15 歳未満)、生産年齢人口(15～64 歳未満)、老年人口(65 歳以上)の3つの階層すべてが今後減少していくことが予想されています。



施策の大綱

将来像の実現に向けて、まちづくりの基本方針、基本目標、基本施策を設定します。

輝きつむぐ理想郷

-いにしへの歴史と希望ある未来、そして人を育むまち

基本方針

- 1 つながりを感じられるまち
- 2 新たな魅力を力に
- 3 歴史・文化・自然の恵みを力に

【基本目標1】

一人ひとりの個性や
生きがいを大切に、
町民参加で進める協働のまち

【基本施策】

- 1-1 子どもの教育の充実
- 1-2 生涯学習・社会教育の推進
- 1-3 生涯スポーツの推進
- 1-4 移住・定住の推進
- 1-5 町民参画のまちづくりの推進
- 1-6 持続可能な行財政運営の推進



【基本目標2】

一人ひとりの個性や
いつまでも健やかに
暮らし続けられるやさしいまち

【基本施策】

- 2-1 保育・子育て支援の充実
- 2-2 地域福祉の充実
- 2-3 高齢者福祉の充実
- 2-4 障がい者(児)福祉の充実
- 2-5 保健・医療の充実
- 2-6 社会保障制度の充実



【基本目標 3】

新たな時代の流れをつかみ、
にぎわいと活力を生み出すまち

【基本施策】

- 3-1 農業の振興
- 3-2 農山村環境の保全
- 3-3 観光の振興
- 3-4 商工業の振興
- 3-5 働く場の充実



【基本目標 4】

支え合いの心でつくる
安全・安心なまち

【基本施策】

- 4-1 消防・救急体制の充実
- 4-2 地域防災力の強化
- 4-3 防犯・生活安全の向上
- 4-4 交通安全の推進
- 4-5 道路の整備

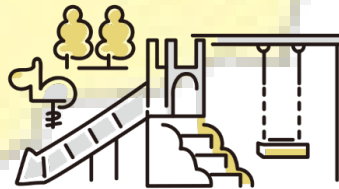


【基本目標 5】

環境と調和した
快適で美しいまち

【基本施策】

- 5-1 上下水道の整備
- 5-2 住宅・市街地・公園の整備
- 5-3 地域公共交通の充実
- 5-4 環境保全の推進
- 5-5 空き家対策の推進
- 5-6 情報環境の充実



【基本目標 6】

歴史と文化を継承し、
交流と創造が花開くまち

【基本施策】

- 6-1 世界文化遺産の保存と活用
- 6-2 文化財の調査研究の推進
- 6-3 芸術・文化の振興
- 6-4 景観の保全・整備



第 6 次平泉町総合計画後期基本計画

〔概要版〕

発行:令和8年3月／岩手県平泉町まちづくり推進課
〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山 45-2
電話:0191-46-5578 FAX:0191-46-3080
<https://www.town.hiraizumi.iwate.jp/>

